

平成27年度

事業報告書

自 平成27年 1 月 1 日

至 平成27年12月31日

東京都中央区八重洲2-4-11 八重洲h+ビル3階

公益財団法人 岩谷直治記念財団



目 次

事業概況と実績	1
1. エネルギー及び環境に関する優れた研究に 対する助成	2
2. エネルギー及び環境に関する研究開発で顕著な 業績が認められるものの表彰	5
3. 人材育成と国際交流への助成	6
4. 主要事業日誌	9
5. 事業報告の附属明細書	11

<事業概況と実績>

当財団は科学技術に関する研究開発の助成および奨励、国際交流の推進のための援助並びに人材の育成を行なうことにより、科学技術全般の一層の発展を図り、もって国民生活の向上および国際的な相互理解の促進に寄与することを目的としております。その達成のために平成27年度においては、つぎの事業を実施いたしました。

1. エネルギー及び環境に関する優れた研究に対する助成

岩谷科学技術研究助成	26件	51,350千円
------------	-----	----------

2. エネルギー及び環境に関する研究開発で顕著な業績が認められるものの表彰

岩谷直治記念賞	1件	3,000千円
---------	----	---------

3. 人材育成と国際交流への助成

岩谷国際留学生奨学助成		31,379千円
平成27年度	奨学生	15名(新規)
平成26年度	奨学生	4名(継続)

1. エネルギー及び環境に関する優れた研究に対する助成

－岩谷科学技術研究助成－

1) 決定

選考委員会推薦の別表－1に記載の26件を平成27年11月開催の定例理事会で承認した後、理事長が助成対象に決定した。

助成金総額は51,350千円。

2) 助成対象と推薦

(1) 助成対象

「エネルギー・資源の有効利用および環境」を中心とした関連研究分野における基礎的研究並びに応用開発などの実用的研究

(2) 推薦期間

平成27年6月1日～平成27年7月31日(2ヶ月間)

(3) 推薦依頼先

国立大学	私立大学	公立大学	高等専門学校	合計
60	76	10	57	203

(4) 推薦件数

164件(前年度153件)

3) 選考経過

(1) 第1回選考委員会(10月9日)

選考方法は昨年度と同じく、推薦案件1件について2名の選考委員で審査することとした。本年度の推薦総件数164件を11名の選考委員で分担したので、1人当たりの審査件数は29～30件となった。

審査の採点は5点法を採用した。各選考委員の採点は、審査件数のうち5点は3件以内、4点は6件以内、3点は10～14件程度、2点は9件以内とした。

(2) 書類審査

各選考委員は分担する案件を「審査基準及び審査報告」に基づき審査し、審査内容を記載した評価表を選考委員長に提出した。

(3) 第2回選考委員会(11月6日)

各選考委員から提出された評価表を「審査集計表」としてまとめ、2名の選考委員の合計点が9点以上の案件9件を推薦し、次いで合計点が8点のものについて総合的に審議し、別表－1の26件の推薦を決定した。

別表－1：第42回(平成27年度)岩谷科学技術研究助成金受領者

(単位：千円)

	所 属	役職・氏名	研究テーマ	助成金額
1	群馬大学 大学院理工学府	教授 浅野 素子	光エネルギー変換素子としての安定・安価なCu(I)錯体の開発と励起状態構造の解明	2,000
2	群馬大学 大学院理工学府	助教 石飛 宏和	多孔ナノファイバー実装による流動二次電池の高効率化	2,000
3	東京工業大学 大学院総合理工学 研究科	助教 伊藤 優	入口ガイドベーンを有する極低温流体用回転翼式ポンプの性能向上に関する研究	1,990
4	東京工業大学 大学院理工学研究 科	教授 伊原 学	インジェクターによって出力制御できる液体燃料直噴型固体酸化物燃料電池の燃料極の開発	2,000
5	早稲田大学 理工学術院先進理 工学研究科	教授 小柳津 研一	高速電荷輸送性ポリマーを用いた人工光合成システムの構築	2,000
6	東京理科大学 工学部	准教授 後藤田 浩	複雑係数理の基礎理論を用いたガスタービン燃焼不安定の制御手法の開発	1,500
7	東京大学 大学院理学系研究 科	助教 坂本 良太	二次元原子層高分子「ボトムアップ型」ジピリン金属錯体ナノシートの太陽電池への応用	2,000
8	山口大学 大学院理工学研究 科	講師 鈴木 祐麻	鉛・ヒ素の土壤中金属酸化物への選択的濃縮現象を活用した、相変化を伴わない『高効率・薬品無使用・省エネルギー型』の先駆的汚染土壌浄化技術の開発	2,000
9	京都大学 原子炉研究所	助教 関本 俊	シェール岩石中のヨウ素濃縮機構の解析によるスイートスポット探査手法の確立	2,000
10	広島大学 大学院工学研究院	助教 田中 智行	動的荷重下の脆性き裂進展挙動の観察と数値解析評価に関する研究	1,900
11	呉工業高等専門学校 環境都市工学科	助教 谷川 大輔	アグロインダストリーを対象とした温室効果ガス削減型廃水処理システムの開発	2,000
12	鳥取大学 大学院工学研究科	講師 辻 悦司	ナノ空間を利用した新規コバルト系酸化物超微粒子の合成と光触媒電極への応用	2,000
13	龍谷大学 理工学部	教授 富崎 欣也	金イオン選択的還元鉱物化による鉄鋼スラグからの貴金属回収技術基盤の開発	2,000

	所 属	役職・氏名	研究テーマ	助成 金額
14	崇城大学 工学部	教授 友重 竜一	放射線遮蔽効果を高めた非酸化物セラミックス-金属系積層材料の開発	2,000
15	金沢大学 新学術創成研究機構	准教授 仁宮 一章	リグノセルロースから炭素繊維強化樹脂へのトータルリファイナリー	2,000
16	大阪市立大学 複合先端研究機構	特任講師 野地 智康	大気下での人工光合成を可能にする多孔質ガラス板の細孔径と機能の相関解明	1,750
17	九州大学 大学院システム情報 科学研究院	准教授 東川 甲平	超伝導ケーブルによる電力系統のエネルギー貯蔵機能の創出	2,000
18	香川大学 工学部	教授 馮 旗	高性能強誘電ペロブスカイト太陽電池の開発	2,000
19	山梨大学 大学院総合研究部 工学域	助教 船谷 俊平	可視化技術による地中熱エアコンの高精度COP計測システムの開発	2,000
20	滋賀医科大学 医学部	教授 古庄 義雄	アミジンとカルボン酸から形成される塩橋を利用した光機能性集合体の創製	2,000
21	核融合研究所	教授 三戸 利行	超伝導磁気浮上による液体水素の安定な長期貯蔵技術の開発	1,960
22	横浜国立大学 大学院工学研究院	教授 向井 剛輝	超高効率太陽電池を実現するコロイド型量子ドット超格子の拡大均一化技術	2,000
23	長崎大学 工学部	助教 本九町 卓	分岐構造を有する新規固体高分子電解質の開発	2,000
24	愛媛大学 大学院理工学研究 科	准教授 安原 英明	シェールオイル・ガス開発時のプロパント処理亀裂の長期透水挙動評価	2,000
25	和歌山工業高等専 門学校 電気情報工学科	教授 山口 利幸	資源豊富な元素で構成される次世代型Cu ₂ SnS ₃ 系薄膜太陽電池の高性能化に関する研究	2,000
26	大阪府立大学 大学院工学研究科	テニユアト ラック助教 山田 亮祐	進化分子工学と代謝工学を駆使したドロップインバイオ燃料生産大腸菌の創製	2,000
			合 計	51,350

(50音順)

2. エネルギー及び環境に関する研究開発で顕著な業績が認められるものの表彰

－ 岩谷直治記念賞 －

1) 決定

選考委員会推薦の別表－2に記載の1件を平成27年11月開催の定例理事会で承認した後、理事長が記念賞と決定した。

副賞金額は3,000千円。

2) 選考経過

開発業績の主題は、従来通り「エネルギーおよび環境に関する優れた技術開発で、かつ顕著な産業上の貢献が認められている業績」を対象とし、関連学会・協会および関係団体、関連企業に6月1日から8月31日にかけて推薦を依頼したところ、5件の推薦があった。

第1回選考委員会（10月9日）において、推薦案件5件について選考委員全員で審査を行うこととし、第2回選考委員会（11月6日）において、「選考審査集計表」（応募案件点数表）に基づき、技術的独創性、産業上の実績等の視点から選考審査を行い、本年度の岩谷直治記念賞候補として1件を推薦することを決定した。

別表－2：第42回（平成27年度）岩谷直治記念賞受賞者

所 属	代 表 者	推 薦 者	開 発 業 績
JFEスチール株式会社 スチール研究所 製鋼研究部 主任研究員	奥山悟郎	一般社団法人 日本鉄鋼協会 会長 加藤雅治	炭化水素燃料バーナー を利用したクロム鉱石 溶融還元プロセスの開 発

3. 人材育成と国際交流への助成

－岩谷国際留学生奨学助成－

1) 決定

岩谷国際奨学生を決定した。

新規 15名

継続 4名

奨学金総額は31,050千円。

なお、その他に奨学生5名に対し学会出席旅費として 総額
329千円の補助を行った。

2) 選考経過

平成26年12月1日～20日まで20日間に亘り留学生の公募をした
ところ299名(前年度322名)の応募があった。

書類審査・面接により、別表－3記載の15名に絞り込み、理事長が
平成27年度の新規奨学生に決定した。

なお、学位の取得を目指す別表－4記載の平成26年度岩谷国際奨学生
4名については、各指導教官から奨学金支給延長の要請を受け、継続し
て岩谷国際奨学生とした。

3) 交流活動

(1) 奨学生間および奨学生と財団の相互理解と親睦を図るため例会を開催
した。

<第40回(平成26年度)奨学生>

第5回(3月7日)「平成26年度を振り返って」(鉄鋼会館会議室)

参加者12名(第40回奨学生)

<第41回(平成27年度)奨学生>

第1回(4月24日)

オリエンテーション(鉄鋼会館会議室)

参加者15名(奨学生)

第2回(6月26日)

筑波宇宙センターの見学、NHK撮影スタジオおよびスタジオ
見学、東京ディズニーシーでの懇親会

参加者21名(奨学生15名、奨学生OB3名、家族3名)

第3回(9月10日～12日)

日本製紙(株)白老事業所、新日鐵住金(株)室蘭製鐵所の工場見学、
アイヌ民族博物館、有珠山西山火口、北海道庁等を見学・訪問
する研修旅行

参加者17名(奨学生15名、家族2名)

第4回(12月3日～4日)

12/3 研究発表会(財団会議室)

参加者18名(奨学生14名、奨学生OB4名)

12/4 日産自動車(株)追浜工場見学、鶴岡八幡宮、鎌倉大仏、長
谷寺、江の島を訪問

参加者16名(奨学生12名、奨学生OB等4名)

(2) 帰国して母国で活躍している奨学生OBとの交流を図るため、次の
支部会を開催した。

中国支部会(6月13日、上海市)

参加者：43名

(奨学生OB19名、家族等19名、岩谷中国等5名)

別表－3：第41回(平成27年度)岩谷国際留学生奨学金受領者

No	氏名	国籍	大学・専攻	課程
1	俞 ハニ 女 YU Ha Nui 30才	韓国	東京大学 建築学	博3、4
2	鄭智慧 女 CHUNG Ji Hye 28才	韓国	京都大学 応用生命科学	博4
3	金眞佑 男 KIM Jin Woo 33才	韓国	大阪大学 地球総合工学	博2、3
4	劉栗彤 女 LIU Li Tong 24才	中国	静岡大学 バイオサイエンス	博1
5	豊 碩 男 FENG Shuo 29才	中国	岩手大学 生物資源科学	博4
6	刘拾柒 男 LIU Shi Qi 31才	中国	東北大学 資源生物学	博3

No	氏名	国籍	大学・専攻	課程
7	劉超 女 LIU Chao 26才	中国	九州工業大学 生体機能	博3
8	王孝雯 女 WANG Hsiao Wen 25才	台湾	東京大学 生物・環境工学	博1
9	黄致豪 男 HUANG Chih Hao 31才	台湾	東京工業大学 化学環境学	博2、3
10	リム シェル グレース フェルナンド ^o 女 LIM, Giselle Grace Fernando 32才	フィリピン	東京大学 応用生命化学	博3
11	グエン タイカン ナイ 女 Nguyen Thi Khanh Ngoc 27才	ベトナム	国際大学 国際経営学	修1、2
12	ドーバン スン 男 DO Van Dung 25才	ベトナム	電気通信大学 知能機械	修1
13	グエン タン トン 男 Nguyen Thanh Tung 28才	ベトナム	東京農工大学 生物システム応用科学	博1、2
14	バトニヤム オン 女 Batnyam Onon 27才	モンゴル	福井大学 ファイバーアメニティ工学	博3、4
15	オドントゼンゲル ニヤムエルデネ 男 ODONTSENGEL Nyamerdene 30才	モンゴル	筑波大学 コンピュータサイエンス	博4

別表－4：第40回(平成26年度)岩谷国際留学生奨学金継続受領者

No	氏名	国・地域	大学・専攻	課程
1	遅永雪 女 CHI Yong Xue 30才	中国	千葉工業大学 工学	博5
2	黄宸佑 男 HUANG Chen Yu 30才	台湾	信州大学 生物・食料科学	博3、4
3	ラオクンラット ナツダ ^o 女 LAOKULRAT Natsuda 28才	タイ	東京大学 電気系工学	博5
4	レタン フック 男 LE Tan Phuc 26才	ベトナム	電気通信大学 情報・通信工学	修2

4. 主要事業日誌

年 月 日	内 容
27. 2. 17 18	岩谷国際留学生奨学助成候補者面接選考(36名)
2. 23	平成27年度第1回定例理事会 <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度(平成26年1月1日～平成26年12月31日)事業報告及び計算書類承認 ・次期理事候補者承認 ・評議員候補者(補充者)承認 ・平成27年度定時評議員会開催要領承認
3. 6	第41回(平成26年度)岩谷科学技術研究助成贈呈式
3. 13	第41回(平成27年度)岩谷国際留学生奨学金受領者決定(15名)
3. 23	平成27年度定時評議員会 <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度(平成26年1月1日～平成26年12月31日)計算書類承認 ・次期理事10名選任 ・評議員4名(補充者)選任 ・定款変更(案)承認
3. 23	平成27年度第1回臨時理事会 <ul style="list-style-type: none"> ・理事長及び常務理事選定 ・第42回(平成27年度)岩谷科学技術助成候補者推薦要項及び推薦書承認 ・第42回(平成27年度)岩谷直治記念賞候補者推薦要項及び推薦書承認 ・内閣府提出書類訂正承認
5. 15	第42回(平成27年度)岩谷直治記念賞候補者推薦依頼 第42回(平成27年度)岩谷科学技術研究助成候補者推薦依頼
6. 17	第2回臨時理事会(決議の省略) <ul style="list-style-type: none"> ・この法人が保有する株式等の議決権の行使承認
7. 15	第3回臨時理事会(決議の省略) <ul style="list-style-type: none"> ・「財団事務所の移転について」承認
7. 31	岩谷科学技術研究助成推薦締切(164件)
8. 1	研究報告書(Vol. 38)発刊 財団機関誌「needs」(Vol. 41)発刊
8. 31	岩谷直治記念賞推薦締切(5件)

年 月 日	内 容
10. 9	第1回選考委員会(研究助成・記念賞)
11. 6	第2回選考委員会(研究助成・記念賞)
11. 20	平成27年度第2回定例理事会 <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度(平成28年1月1日～平成28年12月31日)事業計画承認 ・平成28年度(平成28年1月1日～平成28年12月31日)収支予算並びに「資金調達及び設備投資の見込み」承認 ・第42回(平成27年度)岩谷科学技術研究助成候補26件承認 ・第42回(平成27年度)岩谷直治記念賞候補1件承認
12. 1	第42回(平成28年度)岩谷国際留学生奨学助成募集開始
12. 20	第42回(平成28年度)岩谷国際留学生奨学助成募集締切(300名)

以 上

事業報告の附属明細書

平成27年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項なし。